

2学期を終えて



高校3年 これからが本番！ 一般選抜が始まる

一般選抜の出願校を決定する時期になりました。保護者と担任の先生と相談し、出願校を決定してください。第一志望を貫くのか、進学先を確保するのかという2つの点と、現在の学力と伸びしろをあわせて出願校を決定することになります。

出願時には、調査書が必要です。白色の「受験大学 個人票」に、志願先の大学、学部、学科、コードなどを記入したうえで、担任から、調査書を受け取るようにしてください。近畿大学などの一部の大学では年内の推薦入試等にいったん出願しておれば調査書が必要でない場合もありますが、この場合でも「受験大学 個人票」に記入し、出願校を担任へ伝えるようにしてください。

大学入学共通テストに向けて

冬休み中には、共通テストの時間帯に合わせて学習のリズムを保つようにしておくこと。たとえば、地歴は午前中、国語は昼、英語は夕方に学習をする。また、速読力も維持しましょう。たとえば、新聞の論説記事などを初見で素早く内容を把握することにも慣れておくようにしましょう。

12月中に、国公立大学の出願予定校、共通テストの点数が予定より高かった場合の出願校、低かった場合の出願校の要項、願書を事前にダウンロード、もしくは取り寄せておいてください。私立大学の共通テスト利用型、併用型の中には、出願締切が「共通テスト前」「共通テスト後」があります。事前に受験予定の大学がどちらのパターンかを確認し、出願準備をしておいてください。出願時には、共通テストの受験票の下側に付いている成績請求票の添付が必要になります。

関西以外の大学でも会場が神戸や大阪に設けられているケースもありますが、受験時に宿泊を伴う場合、宿の手配もしておくようにしましょう。

大学入学共通テストの結果を冷静に分析することが大切(4月の進路説明会の資料より抜粋)

国公立大学の出願は共通テストの自己採点を踏まえて行うので、平均点が高いと強気になる受験生が多く、難関大学の出願が増える。逆に平均点が低いと、共通テスト後に出願できる私立大学の志願者が増え、倍率を上げるといった影響を与えることがある。自己採点結果と、公表される平均点などの情報を冷静に分析し、その後の受験スケジュールを組んでいくことが重要。あらかじめ、実力相応校、チャレンジ校、安全校のさまざまなケースを想定して、複数の大学の要項を取り寄せておくことよ。

<これからの予定>

期日	予定	備考
1月7日(金)	3学期始業式 大学入学共通テスト受験説明会	
1月14日(土)	大学入学共通テスト1日目	事前に交通機関の時刻(土日ダイヤ)等を確認
1月15日(日)	大学入学共通テスト2日目	
1月16日(月)	共通テスト自己採点	9:10~9:30 登校 駿台・Benesse、河合塾へ提出
1月20日(金)	共通テストリサーチ・データネット返却	9:30 登校 国公立大学への出願の面談開始
1月23日(月)~2月1日(木)	国公立個別試験 出願	第一志望校、抑え等の要項・願書を事前に取得
1月28日(土)	大学入学共通テスト 追試験1日目	
1月29日(日)	大学入学共通テスト 追試験1日目	
2月25日(土)	国公立大学 前期試験開始	

高校2年 受験まであと1年！

高校2年生は部活動、委員会のリーダーとして学校の中心となる学年であると同時に、受験まであと約1年という時点に立っています。部活動、委員会活動、学習と忙しい毎日の中、自分のすべきことを調節しながら自分の歩むべき道を進むことができる親和生になってほしいと願っています。

これからの1年、下の枠のように約2ヶ月に1回模試があります。これらの模試を志望校へ向かうためのステップとして、これからの1年の学習のペースを組んでください。

2月	大学入学共通テスト早期対策模試	4月	スタディサポート	6月	大学入学共通テスト模試
7月	総合学力記述模試	9月	ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試		
10月	ベネッセ・駿台記述模試	11月	ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試		

まずはこの冬休みに、2月大学入学共通テスト早期対策模試に向けて、取り組みましょう。12月16日に実施した進路講演会の「分析シート」を用いて、志望校合格に向けての取り組むべき教科や分野はわかっているはずです。不得意な教科や分野はついあと回しにしがちですが、高校2年のこの時期は教科や科目を絞らず、自分の可能性を広げるためにできるだけバランスの良い成績に近づけるよう努力を続けてください。講演会でもあったように、志望校の過去問をみて、出題形式や分量、レベルなどを確認し、それを踏まえた学習を進めるようにしましょう。

高校1年 新課程入試の共通テストの試作問題 国語

2022年11月9日に新課程入試の共通テストの試作問題が公表されました。今回は国語の試作問題について取り上げます。新課程入試の国語では、時間が現行の80分から**90分**となっています。10分増えたことで、問題の構成は、近代以降の文章が1つ追加されています。追加されたの**3**の「**新傾向の問題**」に関して、11月9日大学入試センター発表によれば次のように説明されています。

○テキストを図表と関連付けながら的確に情報を読み取る力や、レポートの作成に向けてテキストを適切に解釈し、目次の内容や公債について分析したり検討したりする力を問う。

○資料をレポートに引用するために、複数の文章やグラフの内容や要旨を適切に解釈する力や、よりよいレポートにするために、レポートの内容を捉え直したり、根拠の示し方について考察したりする力を問う。

教科	現行課程（2015年度～2024年度）				新課程（2025年度～）			
	科目	時間	配点	備考	科目	時間	配点	備考
国語	1 近代以降の文章	80分	50点	評論文	1 近代以降の文章	90分	45点	評論文
	2 近代以降の文章		50点	文芸作品	2 近代以降の文章		45点	文芸作品
	3 古文		50点		3 近代以降の文章		20点	新傾向問題
	4 漢文		50点		4 古文		45点	
					5 漢文		45点	

「理工系女子学生のキャリア形成」をテーマとした講演会を実施

11月25日（金）の放課後に、中学1年生から高校3年生の生徒、保護者を対象として立命館大学理工学部ロボティクス学科 教授 岡田志麻先生をお招きし、「理工系女子学生のキャリア形成」をテーマとした講演会を実施しました。当日は、理系女性を積極的に受け入れる社会情勢をはじめ、理工系女子学生の取り巻く環境をわかりやすくお話していただきました。理工分野で活躍されている女性研究者の研究内容を通して、「理工学」、「進路形成」の理解を深めて時間となりました。こういった講演会をこれからも開催していく予定です。

今年度、進路指導部では、理工系分野の関心を持った生徒の育成、その方面の進学者の増加を目指して、理工学部の見学や体験実験、探究活動を実施してきました。

3月18日（土）大阪工業大学 「ロボティクスやプログラミング、空間デザインの体験」を予定しています。年明けに、皆さんにご案内します。興味・関心のある人は予定を空けておいてください。

* 進路通信は学校のHPにも掲載しています。保護者の方にも読んでいただきましょう。